

# アーカイブ Data Report

NO. 155

(2022年1月26日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F

E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学\*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(\*岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

## 教育リソースDAの活用、資料の特性を評価するための CMIシステムを用いた授業カテゴリー行動分析処理

佐々木 恵理、後藤 忠彦 (岐阜女子大学)

### 1. 映像を見て判断 (処理システム)

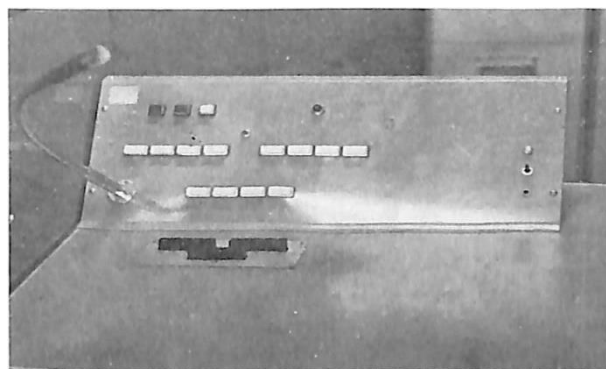
教育リソースデジタルアーカイブ (DA) の授業での活用状況の調査や、資料の特性を調べるには、利用状況の映像を記録し、その状況を授業カテゴリーのコードを用いて評価者が映像を見て判断している。この授業の行動カテゴリーを用いた判断が人によって差が出てくることが多い。

もともとは、1970年に設置されたコンピュータを使い、授業の映像を数人で見て、行動カテゴリーの判断をスイッチを押してコンピュータに入力し、処理できる装置を開発したところから始まった。

これにより、数名の指導主事者による授業の行動カテゴリーの分析結果を整理し、判断に差があるとき、その映像を再生し、皆で協議し、行動カテゴリーを決めていた。その結果を用いて、各種の評価処理を実施していた。



Photo. 6 Behavior Analysis Room



Judge Booth

04	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	2	0	2	
05	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	5	2	3	3
05	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	0
05	0	0	0	0	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	0
05	0	0	0	0	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	0
05	0	0	0	2	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	0
05	0	0	0	0	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	3	0
06	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3
06	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3

Photo. 27 Data of Behavior Analysis

岐阜大学教育学部研究報告 第5巻1号(1972)

これらのシステムは、現在情報端末を用いれば、ネットワークを用いて評価者全員の評価結果をファイルに保管し、各種の処理が可能になる。

## 2. 授業行動カテゴリーの活用

現在では、パソコンを使い、インターネットで各評価者のデータを集め、整理すれば、授業の行動カテゴリー分析を多くの指導者等で実施、訂正、評価処理が可能である。そこで、問題になるのは、授業行動カテゴリーの構成である。

授業行動カテゴリーは、フラダース、OSIA (Hough,J.B.,&Duncan,J.K., 1970 による) 等が開発した例があり、これらを授業分析の目的に応じて変更し、利用されている。図に例を示す。

今後は、各評価の入力は、情報端末を用いてカテゴリーのコードを入力し、何人かの評価者のデータを集めて、分析・整合性を持たせることができる。

また、授業における行動カテゴリーの評価者による一効率を容易に算出することが可能になり、より対象者の行動を明確にして判断することが可能になる。

以上のように、これまでの変遷を踏まえた新しい授業の行動分析の手法の開発が望まれる。

OSIA の授業行動のカテゴリー  
(Hough,J.B.,&Duncan,J.K., 1970 による)  
(小金井, 1977 より引用)

教授行動 の記号	行動	学習行動 の記号
<b>授業内容に関するもの(TS)</b>		
T1	授業内容に関する解明	S1
T2	授業内容に関する要請への応答	S2
T3	授業内容に関する情報の提示	S3
T4	授業内容に関する応答の要請	S4
<b>評価に関するもの(TA)</b>		
T5	修正フィードバック	S5
T6	確認	S6
T7	受容	S7
T8	肯定的個人判断	S8
T9	否定的個人判断	S9
<b>授業運営に関するもの(TM)</b>		
T10	授業運営に関する解明	S10
T11	授業運営に関する要請への応答	S11
T12	授業運営に関する情報の提示	S12
T13	授業運営に関する応答の要請	S13
<b>沈黙活動(T14)</b>		
T14	沈黙による隠された活動	S14
T15	沈黙による明白な活動	S15
<b>その他</b>		
X	授業としての機能をもたない行動	X
Y	相互作用の分離記号	Y

佐々木による授業における行動カテゴリー (文化情報研究 Vol.15 より引用)

T (教師)	主 カテゴリー	サブカテゴリー・内容	S (児童)	主 カテゴリー	サブカテゴリー・内容
T1	説明	a 教科内容の説明	S1	発表	a 教科用語の説明
		b 解決方法の説明			b 回答, 意見
T2	発言	a 児童の質問への返答	S2	発言	a 教師の質問への返答
		b 考えの発言			b 考えの発言
T3	発問	a 思考のための問い	S3	質問	a 教科内容の疑問
		b 評価のための問い			b 活動の疑問
T4	確認	a 進行	S4	確認	a 活動に対する確認
		b 理解度の確認			b 教授内容の確認
T5	指示	a 指名	S5	指示	a 指名
		b 活動の指示			b 周囲への指示
T6	進行	授業の進行	S6	進行	指示に対する応答
T7	同意	同意	S7	同意	同意
T8	称賛	児童への称賛	S8	称賛	他の児童に対する称賛
T9	指摘	補助的な発言や助言	S9	指摘	補助的な発言や助言
T10	提示	資料等の提示	S10	挙手	挙手
T11	板書	板書	S11	板書	前方へ出て板書する
T12	教授指導	机間巡視や個別指導	S12	作業	問題・課題の取り組み
T13	沈黙	a 意味のある沈黙	S13	沈黙	a 意味のある沈黙
		b 意味のない沈黙			b 意味のない沈黙
X	無関係	無関係な行動	X	無関係	無関係な行動